

## 令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人きらめき福祉会	代表者	理事長 竹生 正人	法人・事業所の特徴	当事業所では、他にはあまり例をみないリハビリ専門職が在席しており、通い、訪問、宿泊サービスを組み合わせながら、ご利用者ごとの在宅生活の課題解決に向けて多職種と連携してリハビリ活動に取り組んでいます。また、法人理念である「利用者の笑顔と地域社会のために」の推進にむけて、地域の方を対象とした地域福祉活動に参画し、地域の社会福祉への貢献や地域とともに社会福祉の向上が図れる拠点づくりを目指しています。
事業所名	きらめきの里鯖江	管理者	後藤 賢司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		3人	3人	6人					13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1) 行動指針に沿った個人目標の設定を行い、問題点の認識と共有を図り、解決策の検討を面談等で行っていきます。また職場会議を活用し職員の意見を集約し総括確認の上、月次方針に意見反映します。</p> <p>2) 機能訓練に関してはより多くの職員が取り組めるように利用者毎の個別メニューの作成を進め、必要に応じて職員に個別で伝達し機能訓練の充実化をより一層進めていきます。</p> <p>3) 適切なケアマネジメント手法を活用し、自宅生活における状況を深く把握します。</p> <p>4) ライフサポートプラン2を活用して、利用者の24時間の生活の流れ、したいことなどを把握し、活動に繋げていきます。</p>	<p>1) 年2回の面談で目標設定や取り組みの進捗確認を行い、それぞれの課題解決に向けて進めました。また、職場会議ではケアの質を向上するための業務改善活動について話し合いを進めました。</p> <p>2) 理学療法士による個別メニューを作成し、リハビリ活動を充実させました。他職員へのリハビリ指導もを行い、リハビリの充実化に向けて取り組みました。</p> <p>3) 4) ケアマネジャーを中心に生活リズムや趣味に関する情報収集を行い、個別ケアの見直しに繋げることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時期、訪問忘れが続いたことがあったが、今は改善されている様と思うので今は安心してはいますが、安否、食事、救急事案に関わるので再認識をお願いします。</li> <li>・全職員の意識統一は難しいと思いますが、少しでも意識をもって日々仕事に向かうのは大切ですね。</li> <li>・入居者さんの日ごろをよく見ていないと何をしてほしいかがつかめないので、意思疎通の出来る人ばかりではないので難しいと思います。</li> <li>・「連絡ノート」は面倒ですが、家族の気づきにも役立ちありがたいです。</li> </ul>	<p>1) 支援抜けがないように、日次スケジュールの管理を徹底し、適宜運用方法を見直します。</p> <p>2) 理念や行動指針を振り返る機会をつくり、優れた運営に向けて取り組みを進めます。</p> <p>3) 日々の業務内容の中でのムリムラに対する業務改善活動を進め、ご利用者の生活の流れや状態に応じたケアの見直しなどを話し合う機会を多くもち日ごろのケアサービスの質の向上に繋がります。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>1) 生産性向上委員会においてICT機器の活動やその効果を検証し、各職員へ共有・意見集約を行います。</p> <p>2) 活動提供としては利用者との日々の関りの中でやりたいこと、興味のあることをお聞きし、楽しみや生きがいを感じてもらえるような取り組みを計画し進めていきます。</p> <p>3) 毎月のモニタリングだけでなく、SNSなどで随時情報発信を行っていきます。またコロナウイルス感染症も5類となり、事業所への出入りの制限も緩和されている為、お気軽にお申し付けいただければと思います。</p>	<p>1) 生産性向上委員会の取り組みを基に介護補助員との業務分担やICT機器の導入を進めました。</p> <p>2) リハビリによって出来ることが増えたことをご利用者やご家族にも喜んでいただきました。食事作りでは、ご利用者と買い出しから調理までを行い、楽しい機会を提供しました。</p> <p>3) モニタリング様式の見直しやリハビリ活動のチラシを作成して事業所の様子を感じてもらえるように工夫しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに横になれる場所があつてとてもありがたい。休みたい時に休める環境になっている。職員さんから「横になりますか」と声をかけてもらえてありがたい。</li> <li>・施設内を見たことが無いですが、写真を見る限り綺麗で良いように見えます。衛生、明るい雰囲気か大事かと思えます。</li> <li>・毎日の生活でメリハリが適当にあり楽しそうです。家で一人過ごすよりお友達もできて、一日が充実しています。私もこんなところにお世話になりたいです。</li> <li>・荷物が間違える可能性があるため、荷物置きロッカーがあると良い。</li> <li>・とてもきれいで新しい事業所なので、どんどん利用できると思います。</li> <li>・事業所が並んでおり、分かりにくい感じはある。入口からは工夫されているとは思いますが。</li> </ul>	<p>1) ご利用者が快適に過ごせるように事業所の整理整頓を進めます。</p> <p>2) 生活の一部としてご利用者の生活スタイルに応じた個別支援の提案を進め、施設環境を活用した活動提供に繋がります。(リハビリ活動、趣味活動、利用者同士の交流、ゆっくり過ごすなど)</p> <p>3) 荷物置きとしてロッカーの設置を進め、ご利用者の荷物が混ざらないように工夫します。</p>

C. 事業所と地域のかかわり	<p>1) ご意見やお申し出については事業所内で共有し、改善事項を速やかに解決できるよう対応継続します。</p> <p>2) 将来を担う人材の福祉意識高揚に繋げる福祉教育活動にむけて学生の職場体験の受け入れを行っています。また毎月の地域福祉委員会やAgatte委員会に職員が参画し、法人の有する施設機能(Agatte)を活用した地域住民と利用者との交流の場の提供を行っています。</p>	<p>1) ご意見やお申し出については、情報通信機器の機能を活用して職員間の共有を図り、課題解決については日次のミーティングで検討を行い、取り決めたことについても共有を行いました。</p> <p>2) 鯖江高校福祉専攻の学生の実習受け入れや地域の児童を対象にした食育企画の開催を通して、地域との交流の機会に繋がりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私も今年度、このような会議に出て分かったことが多いですが、他の地域の方も知らない人が多いと思いますので、これから参加していただけるよう、地域の行事など知らせていきたいです。</li> <li>・エコバックをコンビニに実際に持っていき「ありがとう」と言ってくれて良かった。</li> <li>・子供、若い方との交流は利用者様に良い刺激となると思いますので、そういう場への参加を進めてください。</li> <li>・地域の回覧板にイベント等の紹介、活動の様子が分かるように印刷物を入れて下さり、積極的に発信されている。</li> <li>・地域とよく関わっていることが分かりました。色々な取り組みをしているのですね。</li> </ul>	<p>1) 地域にとって「役立つもの、必要なもの」を探り、ご利用者の出来る活動を活かして地域との関わりの機会を作っていきます。</p> <p>2) 地域の児童や親子を対象にした地域福祉活動にご利用者の参加を促し、交流の機会を提供しています。</p> <p>3) 通信誌やSNS、チラシによる活動の様子の発信に力を入れ、事業所を知っていただく機会を増やしていきます。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>1) 地域イベントに関しても継続して参加検討を行い、施設外での活動を進めていきます。</p> <p>2) 地域福祉委員会やAgatte委員会には職員も参加しており、企画ご案内を継続し、利用者の参加を促していきます。</p>	<p>1) 施設のある地域で開催された文化祭への参加やご利用者ご自分の地域行事へ参加出来るようにご家族と連携することができました。</p> <p>2) 今年度も地域福祉委員会やAgatte委員会による地域福祉活動を開催することができ、ご利用者の参加を進めることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事、イベントに参加するのは大変だと思いますが、大切にしていってほしいです。</li> <li>・「2」について、運営推進会ではないでしょうか。</li> <li>・「3」について、下記参照。Cの「前回の改善計画」に記載されている内容を実行。</li> <li>・「4」について、課題ではなく、身近な相談場所として関わり、関係機関に繋ぐ役割ではないか。</li> <li>・外出できるようにリハビリをしてきてくれてありがたい。気分転換にもなる。</li> <li>・色々な所に連れて行ってきて良かった。機会があれば海にいきたい。</li> <li>・春から厚い日々が続くので対策をし、外出を積極的に行ってください。</li> <li>・事業所でのサロンやお祭りに地域のかたも参加されています。児童館での地区の文化祭には展示物やエコバックで協力いただいた。</li> <li>・本人の暮らしの中で、地域との関りはイベントに参加する事だけではなく、町内（地区）の社会奉仕活動などに住民として参加することではないかと考えます（地区、町内活動）。本人のこれまでの地域の関り等を知り、できなくなったこと、続けていきたいことなどを実現できるように支えていく事ではないでしょうか。</li> </ul>	<p>1) ご利用者が住み慣れた地域で住み続けられるように地域の方についての情報収集を行い、関わる機会を作ります。</p> <p>2) ご利用者が地域行事に参加出来るようにリハビリ活動や施設外での活動機会を提供していきます。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>1) 小規模利用者に関する生活課題について運営推進会議にて共有し検討を依頼していきます。</p>	<p>運営推進会議で地域の行事について情報交換を行い、お一人暮らしで孤独感や不安感を持ったご利用者と一緒に文化祭に参加することができ、涙を流して喜ばれていました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回会議に参加させていただいています。やっと少しわかったところです。忙しくて大変な中、色々会議して取り組んでいることがよく分かりました。</li> <li>・地域とも話し合いをしているのが分かりました。</li> <li>・参加していないので、資料のみとなりますが、地域イベントの参加は良いと感じます。後、話を聞いてもらうのは大事だと思いますので、傾聴ボランティアを進めてほしい。</li> <li>・アガッテ喫茶の案内があり行こうと思っておりましたが、他に行くところができてしまい欠席しました。次は必ず出ます。</li> </ul>	<p>1) ご利用者に生きがいや楽しみ、安心感を感じてもらうために傾聴や趣味活動などのボランティアに関する情報収集を行い、受け入れを進めます。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>1) 2) 訪問サービスなどで情報収集を行い、必要に応じて宿泊サービスを活用していきます。また防災・避難訓練を継続するとともに、事業継続計画(BCP)の更新や備蓄品の確保などを進め防災体制を充実させお一人暮らしでも安心して生活できるよう支援していきます。</p>	<p>水害を想定した避難訓練を初めて行い、BCPの見直しを行いました。ご利用者においても個別避難計画の把握を進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな災害があり予測もつかないなか、避難場所としてお願いできそうです。</li> <li>・事業所が利用できることを地域の方に知らせたい。</li> <li>・河川近くにあるので高い事業所があるので良いが、そちらに避難出来るのか。出来るとしてどうやって行こうかが知りたいです。又、地震でライフラインがストップした場合の備蓄を3日から1週間から10日は必要と考えます。再考をお願いします。</li> <li>・能登地震のような大きい地震が来たら先ず自分の安全、次に近所の方の安否を確認となると思う。入所されている方まではとても手が回らないと思います。</li> <li>・備蓄品を見たことが無い。</li> </ul>	<p>1) 鯖江市で想定される災害（火災、地震、水害、雪害）について避難訓練を継続して行い、避難計画の質を高めていきます。</p> <p>2) 利用者の個別避難計画の把握を進め、通い外の時でもご利用者の安全が確保できるように取り組みを進めます。</p>

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 10 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	8 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の担当者会議で個別支援計画書を活用して生活の流れやこだわり、ケアのポイントまで共有を図り、新しく知り得た情報は追記し、不参加者には介護記録機器で申し送りを行います。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用開始前に必ずケア会議を開催し、個別計画書やケアの内容を共有し、疑問点に関しても解決に向けて話し合いを行う事が出来ています。不参加職員には介護記録機器での共有を図りました。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	5	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	2	6	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個人の新規ご利用者への対応意識を高めるために、スケジュール調整を行い利用開始前のケア会議を確実に行う事が出来ました。</li> <li>・今まで不十分であった新規ご利用者に関する情報収集を行い、具体的なケアにつなげるために退院前のカンファや利用担当者会議へ参加ができています。</li> <li>・利用前には見学に来てもらい、実際に事業所の雰囲気などを感じてもらい配慮が行えています。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特記なし</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も初回のケア会議を確実に実施し、ご利用者やご家族が安心してご利用に慣れていただけるように、ご利用者に関わる中で生活リズムやご利用者の興味のあることなどの情報収集を行い、職場内での共有を進めていきます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 10 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～したい」の把握が不十分な方には、再アセスメントを行い、新たな情報から支援内容を職員全体で検討し、実践していきます。不参加者には ICT 機器で申し送りを行います。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の関りの中でご利用者の訴えや表情をもとにご利用者の求めていることを職員間で話し合いを行い、ご利用者へ家事活動の役割を提供した結果、ご利用者からは「こういう家事が元々好きなんや」と笑顔で取組まれ、日中の活動量の増加や楽しみにもつながっています。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	1	8	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	3	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	4	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろのミーティングでもケア会議を実施し、利用者の状態やケアの進捗状況の確認がこまめに出来るようになりました。</li> <li>・ケアプラン一覧表を作成して、日ごろからプランに沿った支援が行える体制づくりを整えた結果、個別支援の頻度が増え、ご利用者への役割提供や生活動作の向上に繋がられています。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思疎通が取りにくい方の将来的な目標設定や話し合い、内容の周知が不足していることがあります。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思疎通が取りにくい方の「～したい」の実現のために、職員間で予測を立て、実行し、その結果良かったのか悪かったのかを評価することでご本人が楽しく過ごしてもらえるような取り組みを進めていきます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6 年 9 月 10 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
3. 日常生活の支援	メンバー (常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・突発的に起こる利用者の声に対して気づいた点は積極的にケアマネジャーやリーダーに報告してプランへ具体化していきます。職員間で共有できるように情報通信機器でも申し送りを行っていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご利用者に関する日常生活の中での気づきや変化については、ケアマネジャーやリーダーへの報告やミーティングでの職員間での検討を行う事ができ、ご利用者の環境調整によって転倒予防を図り、安全な在宅生活の支援を行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	7	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	8	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の方や老々介護の方に対して、通いや訪問での支援経過をミーティングで共有を進め、ご利用者の活動範囲の拡大や栄養面に関してご家族へのアドバイスをを行う事ができました。</li> <li>・リハビリ専門職を中心にご利用者の生活環境の評価を行い、福祉用具事業所と連携して環境調整を行う事ができました。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思疎通が取りにくい方の言語化できていない生活課題についてのアセスメントが十分に行えていないことがあります。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思疎通の取りにくい方の声の言語化のために通いで様子や自宅生活の中での課題を探りつつ、ご本人が興味のあることや楽しみを感じてもらえる支援を探しながら、本人の思いの理解を進めます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 15 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活スタイルに応じた支援を行うために、再アセスメントを行い、事業所が関わっていない時間で生活上の課題を見つけて必要な支援に繋げていきます。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保佐人や地域資源からの情報を基に、食料、生活用品などの買い物支援をご利用者で行う事ができ、ご利用者の生活の支援が行えています。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	7	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	7	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	7	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	9	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者ごとに「訪問ノート」を作成して、事業所が関わっていない時間帯の様子 of 把握に努めました。</li> <li>・好事例を基に他のご利用者への支援にもつなげるようにケアマネジャーを中心にサービス調整を行う事が出来ました。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な地域での暮らしのために地域の方との関りが不足していました。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での生活も含め、生活リズムや地域の民生委員などとのつながりを調べ、将来に向けた生活課題の洗い出しにつなげます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 15 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者との日々の関りや変化について、情報通信機器にて提案及び共有内容を種別ごとに記録することで協議事項を明確に区別していき、必要に応じてアセスメントやケアプランへ追記しプランの具体化に繋げていきます。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の状況や記録内容をもとに、ケアの見直しをはかり、ご利用者のご希望であった安全な在宅生活の継続に向けて、リハビリ専門職による個別リハビリメニューを作成し、ケアにつなげることができました。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10	1	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	10	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ専門職による個別リハビリメニューを作成と個別支援計画書への反映を進め、生活リハビリを推進することができました。</li> <li>・体調変化などによって通い利用ができない方に対しては、ご本人、ご家族の負担を考慮し、訪問サービスを提案するなど切り替え支援することができています。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によって職員体制が整っていない際に、ケアを行き届かせることができていないことがありました。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の日々の変化について確実に情報通信機器で記録し、必要に応じて情報通信機器の機能を活用しながら申し送りを徹底し、ご利用者のケアの評価を行いながらケアの質の向上につなげていきます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 9月 17日 ( 14:00 ~ 15:00 )
6. 連携・協働	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の参加したいイベントには継続して参加できるよう支援を行い、新たに利用者の地域の行事についても家族や地域の方から情報収集を行い支援に繋がっていきます。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のご家族や地域などから行事についての情報収集を行い、外出を実施することができ、ご利用者もとても喜ばれていました。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	1	7	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	3	7	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	3	7	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	2	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議での地域からの提案を基に、外出計画を立案し、実現に向けて取り組むことができました。</li> <li>・ご利用者の身体機能を評価し、動作指導や福祉用具の調整を行い、地域行事の参加や友人との外出など生活範囲の拡大につなげることができました。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の地域での生活のために地域との関わりが不足していることがあります。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の住んでいる地域の民生委員などとの関わりを増やし、ご利用者の地域とのつながりの支援を進めます。</li> </ul>	



資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 17 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
7. 運営	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	9 人	1 人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた運営に向け、理念や価値→年度・月次方針→日々の業務執行を統合して目標と現実の差から課題を明確にし、職場会議や委員会活動にて質を向上させていきます。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度より立ち上げられた生産性向上委員会において、ご利用者へのケアの充実と働きやすい職場づくりを目的に職員が参画し、日ごろの業務に関する課題の聞き取りを行い、業務内容の役割分担を明確にし、介護補助員の導入につなげることができました。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	4	8	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	7	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	10	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	9	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善活動に向けて、月次の職場会議で議題として設定し、職員全体での協議を進めることができ、進捗確認を行いながら取り組みを進めています。</li> <li>基幹病院の地域連携室や居宅介護支援事業所に対して事業所の活動案内を行い、永続的な関係づくりを進めています。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職場会議の議題として月次の重点課題の協議を進めていましたが、職員全員が発言できる環境を整えることができていないことがありました。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に対して職場会議前に資料を配布し、業務やケアについて職員が意見できるように仕組み作りを行います。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 9月 20日 ( 14:00 ~ 15:00 )
8. 質を向上するための取組み	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	0人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を生み出すために PDCA サイクルの質を見直します。具体的には職員のニーズに応じた学びの場の提供を教育委員会で設定する事や外部研修への参加がしやすい勤務調整をしていきます。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会に職員が参画し、職員研修方法の見直しを図り、研修に参加できない職員には職場内での伝達講習によって研修受講を進めました。</li> <li>研修に参加したことでご利用者の服薬について医療機関に相談し連携にもつながっています。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	3	5	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	4	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	7	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修日に合わせて、職員の勤務体制を調整し、研修参加を進めることができました。</li> <li>研修後は必ず、職場内で伝達講習を行い、事業所全体のスキルアップを目指しました。</li> <li>生産性向上委員会の取組みによる職員からご利用者のケアの充実や職員の働きやすさのための意見を基に業務改善活動に取り組むことができています。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの職員の研修参加が進められていません。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上委員会での取り組みを進め、職員の研修参加が出来るように業務改善につなげていきます。</li> </ul>	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 9 月 20 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )
9. 人権・プライバシー	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野 中村 上田 黒川 道前

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者情報に関して回覧などをする際は置き場所を決めてプライバシーに配慮していきます。</li> <li>・利用者に関する話し合いを行う際はイニシャルなどで呼び、個人が特定されないような配慮を行います。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の情報についての定位置管理の徹底が行えました。</li> <li>・ご利用者の話をする際は、他のご利用者には聞こえないよう話し合う場所を決めて行うように対応しています。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	8	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	9	1	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者への不適切ケアを防ぐために身体拘束委員会や虐待防止委員会に職員が参画し「虐待の目チェックリスト」を用いて全職員を対象にケアの振り返りを行いました。</li> <li>・利用開始前には必ず個人情報の取扱いに関する説明と同意を行い、契約情報を一覧化して個人情報の管理を行っています。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・特記なし	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・個人の不適切ケアのチェックを確実にし、課題に対しては取り組みに繋げていきます。	

## 資料③

## B.事業所のしつらえ・環境

## 【1. 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？】

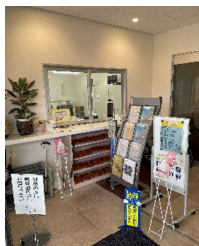
敷地内の見通しが悪い箇所に一時停止の白線を引き、ご家族、地域の方が安心してお越しいただけるようにしています。また、正面玄関すぐ横の事務所があり、平日には必ず職員が在籍し、来客対応を行っています。

事業所通路にはご利用者の作品を展示し、取り組みのご紹介や正面玄関に観葉植物を置いて気持ちの良い雰囲気づくりを心がけています。

【敷地通路の様子】



【正面玄関の様子】



【モニタリング用紙】

■生活状況検察表

氏名	性別	年齢	入居日	担当職員	モニタリング	備考
山田 太郎	男	75	2023.01.15	佐藤 花子	○	認知症傾向あり
田中 花子	女	82	2023.02.01	佐藤 花子	○	歩行補助具あり
佐藤 健一	男	70	2023.03.10	佐藤 花子	○	聴覚障害あり

【ご利用者の作品】

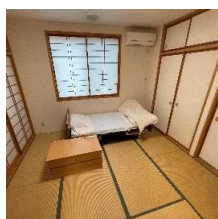


## 【2. 事業所は居心地がいい空間になっていますか？】

事業所には和室を含めて6部屋の個室があり、横になって休む方や宿泊サービスをご利用になる方には必ず個室対応をとり、ご利用者のプライバシーへの配慮をしています。

また、仲の良いご利用者同士で会話をしたり、一緒にカラオケ活動など楽しく過ごされている場面や、ソファに横になってリラックスしながら過ごされている方もいらっしゃいます。

【お部屋の様子】



【フロアの様子】



日中の余暇時には趣味活動に取り組まれている方も多く、時には職員も一緒になって行われている場面もみられます。

入浴では、ストレッチャー浴も準備しており、ご利用者のお身体の状態に応じてどのような方でも安全に入浴が行える体制を整えています。

【趣味活動の様子】



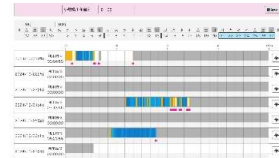
【ストレッチャー浴】



転倒予防体操として毎日2回参加していただけるご利用者と一緒に取り組み、元気な身体作りを行い、在宅生活の継続やご家族との外出などにも繋がられています。  
見守り支援機器を活用して、ご利用者の睡眠リズムや心拍などを把握し、ご利用者の安全や健康状態の把握を行っています。  
事業所は在宅サービスであり、生活の拠点はご自宅であるため、ご利用者の出来ることや出来そうなことについては積極的に行ってもらい、様々な生活活動の提供や気分転嫁を兼ねた外出企画を行っています。

【転倒予防体操】

【ICT機器】



【生活活動の様子】

【外出の様子】



### 【3. 事業所内・外に不快な音や臭い等はないですか？】

清掃活動として毎日職員が対応しています。またご利用者にも活動提供として手すり拭きやモップ掛けに協力していただいています。  
今年度より発足した生産性向上委員会を中心に業務改善活動を進め、介護補助員の業務内容を明確化して役割分担を行いました。また、定位置管理表を基にフロアの整理整頓も進めています。

【清掃活動の様子】

【介護補助員の業務内容の明確化】

【定位置管理表】



時間	内容	担当者
15:30 ~ 15:50	1001 居室フロアの掃き掃除、カーペット、ヘッドライターの掃除	介護補助員
15:50 ~ 15:55	2001 廊下掃き、廊下拭き、廊下掃除機（廊下、車庫）	
15:55 ~ 16:00	3001 廊下掃き、廊下拭き	
16:00 ~ 16:05	4001 廊下掃き、廊下拭き	
16:05 ~ 16:10	5001 廊下掃き、廊下拭き	
16:10 ~ 16:15	6001 廊下掃き、廊下拭き	
16:15 ~ 16:20	7001 廊下掃き、廊下拭き	
16:20 ~ 16:25	8001 廊下掃き、廊下拭き	
16:25 ~ 16:30	9001 廊下掃き、廊下拭き	

場所	担当者	頻度
廊下	介護補助員	1回
ロッカー	介護補助員	1回
トイレ	介護補助員	1回
洗面所	介護補助員	1回
浴室	介護補助員	1回
ホール	介護補助員	1回
エレベーター	介護補助員	1回
会議室	介護補助員	1回
事務室	介護補助員	1回
職員室	介護補助員	1回
廊下	介護補助員	1回
ロッカー	介護補助員	1回
トイレ	介護補助員	1回
洗面所	介護補助員	1回
浴室	介護補助員	1回
ホール	介護補助員	1回
エレベーター	介護補助員	1回
会議室	介護補助員	1回
事務室	介護補助員	1回
職員室	介護補助員	1回
廊下	介護補助員	1回
ロッカー	介護補助員	1回
トイレ	介護補助員	1回
洗面所	介護補助員	1回
浴室	介護補助員	1回
ホール	介護補助員	1回
エレベーター	介護補助員	1回
会議室	介護補助員	1回
事務室	介護補助員	1回
職員室	介護補助員	1回

### 【4. 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？】

小規模扉には鍵は設置されていないため、誰でも出入りが出来るようになっており、見学の方や他の階のご利用者も自由に行きでき、交流の機会につながっています。  
施設正面玄関は二重の自動扉となっており、ご利用者の安全のため、中からはテンキー入力をする事で開錠されるようになっていますが、外からはセンサーで自動で開くようになっています。ご利用者も運動のため職員と一緒に施設内外を歩いたりされています。



## C.事業所と地域のかかわり

### 【1. 職員はあいさつできていますか？】

感染対策として勤務中は全職員マスクを着用していますが、表情が見えにくいことでご利用者やご家族、地域の方のご不安にならないように、送迎や訪問時、外出時には積極的に挨拶を行うことを徹底し、関係づくりに努めています。  
新人職員に対しては、OJTを行い、理念や行動指針に沿った対応が行えるように指導を行っています。

【地域の児童さんとの交流】



【外出やイベントに参加した時の様子】

### 【2. 事務所は地域の方に知られていますか？】

地域福祉活動のご案内を地域の喫茶店や児童館にお願いし、地域の方に知っていただけるように継続して取り組んでいます。その結果、食育企画の参加応募が多数寄せられており、今後の活動に期待のお声もいただいています。

【Agatte喫茶での体操の様子】



【食育活動の様子】



【コンビニにエコバックを寄付した様子】



鯖江高校の実習生の受け入れを行い、事業所の取り組みやしつらえについて知っていただいています。  
小黒町の夏祭りの休憩場所として場所を提供し、地域と関われる機会には積極的に参加しています。

【鯖江高校福祉福祉科専攻の学生による職場体験の様子】



【お神輿周りの様子】



**【3. 何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？】**

平日だけではなく、休日においてもご相談や見学対応を行える体制を整えており、2024年4月から10月は41件のご相談や問合せがありました。見学や契約時には事業所の取組についての説明や困りごとや不安なことをこちらから伺うようにし、安心してもらえるように心がけています。また、ご利用者、ご家族のご意向を踏まえて、通いの連絡帳や訪問ノートを活用してご利用者状態などの情報交換を行っています。

**【4. 事業所スタッフは地域の行事やイベントに参加していますか？】**

地域の夏祭りに職員が参加し、お神輿の休憩場所としても場所の提供をさせていただいています。運営推進会議に職員が参加し、地域のサロンなどの情報共有を行い、地域の文化祭へエコバックの寄付を行い、文化祭当日も参加させていただいています。また、当法人の地域福祉委員会やAgatte委員会にも職員が参加し、地域を対象にした食育企画や健康体操などの企画などにも取り組んでいます。